

山 口 新 聞

平成 29 年 9 月 1 日 (金)

NO.263

農地・水環境

守ろう地域の手に



263

当地区は山口市中心部より、標高1600坪〜3500坪の国道262号を南下した、谷の山間部の典型的な中山小鯖の東部(東鯖)に位置、間地域である。



豪雨災害を乗り越えて 水土里を守る会 (山口市)

① 会員の皆さん
② 農道、水路の
草刈りの様子



基盤整備が完了し農業の取り組み体制が整った直後の2009年7月21日、突然襲った豪雨(中国・九州北部豪雨)で1カ月の避難所生活を余儀なくされ、出穂間近の水田は土石流により壊滅的な被害を受けた。甚大な災害にくじけることなく、被災前の美しい農村風景を取り戻すため、地域住民、農事組合法人、行政が一体となって迅速に対応し、早期に復旧できた。当地区も高齢化、担い手不足が深刻な問題となっているが、「会員皆生涯現役」

を合言葉に07年8月に設立した当会は、中山間直接支払協定に取り組み地元組織とともに、地域内の農業用施設を中心に草刈りなどを実施。清流で知られる鳴滝川周辺の清掃を共同活動により力を入れた結果、被災後にほとんど見られなくなっていた川魚、ホタルなどが復活するようになった。今後もこの風景を後世に残し、交付金を有効活用して農地の保全、施設の維持管理に努めていきたいと思っている。

(代表、原田隆志)
— 金曜日掲載 —

【メモ】代表 原田隆志
▽会員 43人、農家(36戸)、非農家(3戸)、農事組合法人宇津木農産、小鯖14区、16区、17区の各自治会▽設立 2007年8月6日▽連絡先 山口市下小鯖4843、原田隆志